

2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年1月27日

上場会社名 エレマテック株式会社

上場取引所 東

コード番号 2715 URL <http://www.elematec.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横出 彰

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート本部長 (氏名) 深水 正浩

TEL 03-3454-3526

四半期報告書提出予定日 2023年1月27日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	184,905	27.1	10,030	77.3	9,260	69.8	6,420	67.8
2022年3月期第3四半期	145,459	10.5	5,658	51.6	5,452	52.1	3,826	50.1

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 6,819百万円 (56.7%) 2022年3月期第3四半期 4,351百万円 (59.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	156.80	
2022年3月期第3四半期	93.44	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	124,351	63,884	51.4	1,560.22
2022年3月期	115,332	59,645	51.7	1,456.67

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 63,884百万円 2022年3月期 59,645百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		17.00		36.00	53.00
2023年3月期		27.00			
2023年3月期(予想)				47.00	74.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	243,500	21.4	11,650	39.6	10,950	39.2	7,550	40.5	184.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	42,304,946 株	2022年3月期	42,304,946 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,358,737 株	2022年3月期	1,358,737 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	40,946,209 株	2022年3月期3Q	40,946,232 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11
海外売上高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、急激な円安進行等の影響を受けつつも、経済活動の正常化が進んだことを背景に、個人消費や雇用が持ち直し、緩やかな回復基調が続きました。一方、ウクライナ情勢の長期化や、世界的なインフレ沈静化の遅れ等、世界経済の先行きは不透明な状況で推移しました。

エレクトロニクス業界におきましては、一部で需給バランスの崩れ等の影響を受けたものの、自動車における電装化の進展や、データセンター関連及び産業機器等、様々な分野での需要に支えられ、電子部品の生産は堅調に推移しました。

このような状況の中、当社グループは、自動車向け各種関連部材に注力した販売活動に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比27.1%増の1,849億5百万円となりました。

営業利益は、売上高の増加に伴い売上総利益が増加したことから、前年同期比77.3%増の100億30百万円となりました。

経常利益は、営業利益が増加したことから、前年同期比69.8%増の92億60百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益が増加したことから、前年同期比67.8%増の64億20百万円となりました。

為替の円安影響に伴う増収に加え、利益率の改善もあり、第3四半期連結累計期間の経営成績としては、いずれも過去最高を更新しました。

当社グループの報告セグメントを基にした、当第3四半期連結累計期間における地域別販売状況の概要は、以下のとおりであります。

(日本)

売上高は、自動車向け各種関連部材の販売が増加したことから、前年同期比29.5%増の1,004億31百万円となりました。営業利益は、前年同期比58.0%増の44億18百万円となりました。

(中国)

売上高は、ゲーム機向け各種関連部材の販売が増加したことから、前年同期比15.6%増の435億61百万円となりました。営業利益は、前年同期比126.3%増の30億63百万円となりました。

(その他アジア)

売上高は、電子部品向け各種関連部材の販売が増加したことから、前年同期比16.8%増の276億69百万円となりました。営業利益は、前年同期比6.7%増の12億57百万円となりました。

(欧米)

売上高は、自動車向け各種関連部材の販売が増加したことから、前年同期比103.7%増の132億43百万円となりました。営業利益は、前年同期比384.3%増の3億71百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、「現金及び預金」が増加したこと等により、前連結会計年度末比7.8%増の1,243億51百万円となりました。

負債は、「支払手形及び買掛金」が増加したこと等により、前連結会計年度末比8.6%増の604億66百万円となりました。

純資産は、「利益剰余金」が増加したこと等により、前連結会計年度末比7.1%増の638億84百万円となりました。なお、自己資本比率は、51.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より40億85百万円増加し、348億38百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、60億6百万円の収入となりました。主な要因としましては、税金等調整前四半期純利益が92億60百万円、売上債権の増加による資金流出が13億円、棚卸資産の増加による資金流出が18億61百万円、仕入債務の増加による資金獲得が19億51百万円、法人税等の支払による資金流出が25億35百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、5億66百万円の支出となりました。主な要因としましては、有形固定資産の取得による資金流出が5億60百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、16億18百万円の支出となりました。主な要因としましては、配当金の支払による資金流出が25億75百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、2022年10月28日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,753	34,838
受取手形及び売掛金	61,224	63,174
棚卸資産	15,767	18,065
その他	1,267	1,850
貸倒引当金	△16	△1
流動資産合計	108,996	117,928
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,212	2,278
減価償却累計額	△1,592	△1,634
建物及び構築物(純額)	620	643
土地	1,110	1,110
その他	4,178	4,644
減価償却累計額	△2,633	△2,996
その他(純額)	1,545	1,648
有形固定資産合計	3,276	3,402
無形固定資産		
ソフトウェア	320	292
販売権	2	0
その他	0	0
無形固定資産合計	323	293
投資その他の資産		
投資有価証券	555	527
繰延税金資産	1,061	1,107
投資不動産	312	305
破産更生債権等	3,341	3,296
退職給付に係る資産	322	304
その他	501	499
貸倒引当金	△3,359	△3,314
投資その他の資産合計	2,736	2,726
固定資産合計	6,336	6,422
資産合計	115,332	124,351

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,910	50,824
短期借入金	403	1,651
未払法人税等	1,366	1,435
賞与引当金	406	1,176
役員賞与引当金	-	29
その他	4,022	3,517
流動負債合計	54,109	58,635
固定負債		
繰延税金負債	1,210	1,455
退職給付に係る負債	120	136
その他	248	239
固定負債合計	1,578	1,830
負債合計	55,687	60,466
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142	2,142
資本剰余金	3,335	3,335
利益剰余金	52,296	56,137
自己株式	△694	△694
株主資本合計	57,079	60,920
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	189	159
繰延ヘッジ損益	-	0
為替換算調整勘定	2,174	2,632
退職給付に係る調整累計額	200	173
その他の包括利益累計額合計	2,565	2,964
純資産合計	59,645	63,884
負債純資産合計	115,332	124,351

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	145,459	184,905
売上原価	130,025	163,610
売上総利益	15,433	21,294
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	3,794	4,068
役員報酬	102	102
運賃及び荷造費	1,844	2,034
法定福利費	679	787
旅費及び交通費	205	339
減価償却費	358	417
賞与引当金繰入額	651	987
役員賞与引当金繰入額	30	29
退職給付費用	145	146
貸倒引当金繰入額	△6	△17
その他	1,970	2,367
販売費及び一般管理費合計	9,774	11,264
営業利益	5,658	10,030
営業外収益		
受取利息	18	22
貸貸収入	69	62
投資事業組合運用益	12	-
固定資産売却益	29	0
その他	30	30
営業外収益合計	160	116
営業外費用		
支払利息	20	50
貸貸費用	31	24
為替差損	280	799
その他	34	12
営業外費用合計	366	886
経常利益	5,452	9,260
税金等調整前四半期純利益	5,452	9,260
法人税等	1,625	2,839
四半期純利益	3,826	6,420
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,826	6,420

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	3,826	6,420
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	△30
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	553	457
退職給付に係る調整額	△24	△27
その他の包括利益合計	525	399
四半期包括利益	4,351	6,819
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,351	6,819

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,452	9,260
減価償却費	672	850
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9	△17
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,283	△1,300
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	10	1
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,116	△1,861
仕入債務の増減額 (△は減少)	11,048	1,951
その他	592	△329
小計	10,365	8,555
利息及び配当金の受取額	28	36
利息の支払額	△20	△50
法人税等の支払額	△1,397	△2,535
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,976	6,006
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△461	△560
無形固定資産の取得による支出	△52	△37
投資不動産の賃貸による収入	43	45
その他	98	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△372	△566
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	515	1,241
リース債務の返済による支出	△210	△284
配当金の支払額	△1,635	△2,575
その他	△0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,330	△1,618
現金及び現金同等物に係る換算差額	520	264
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,793	4,085
現金及び現金同等物の期首残高	27,877	30,753
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,670	34,838

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(ASC第842号「リース」)

当社グループの米国会計基準適用子会社は、第1四半期連結会計期間の期首より、ASC第842号「リース」を適用しております。これにより、借手のリース取引については、原則すべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上しております。

当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

本基準の適用に伴い、第1四半期連結会計期間の期首において、有形固定資産の「その他（純額）」に含まれる使用権資産が25百万円、流動負債の「その他」に含まれるリース債務が17百万円、固定負債の「その他」に含まれるリース債務が7百万円それぞれ増加しております。

なお、この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	中国	その他 アジア	欧米	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	77,583	37,679	23,695	6,501	145,459	-	145,459
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	36,571	7,774	5,984	1,678	52,008	(52,008)	-
計	114,154	45,453	29,679	8,180	197,467	(52,008)	145,459
セグメント利益	2,796	1,353	1,178	76	5,406	252	5,658

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額は、セグメント間の消去額を記載しております。

2. 日本以外の各セグメントに属する国または地域は、次のとおりであります。

- (1) 中国……………中国(香港を含む)
- (2) その他アジア…韓国、インド、東南アジア等
- (3) 欧米……………米国、メキシコ、チェコ

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	中国	その他 アジア	欧米	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	100,431	43,561	27,669	13,243	184,905	-	184,905
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	35,718	10,965	6,472	2,216	55,373	(55,373)	-
計	136,150	54,526	34,141	15,459	240,278	(55,373)	184,905
セグメント利益	4,418	3,063	1,257	371	9,110	919	10,030

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額は、セグメント間の消去額を記載しております。

2. 日本以外の各セグメントに属する国または地域は、次のとおりであります。

- (1) 中国……………中国(香港を含む)
- (2) その他アジア…韓国、インド、東南アジア等
- (3) 欧米……………米国、メキシコ、チェコ

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

	中国	その他アジア	その他	合計
I 海外売上高(百万円)	37,437	35,258	4,657	77,353
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	145,459
III 海外売上高の連結売上高に占める割合(%)	25.7	24.2	3.2	53.2

(注) 国または地域の区分の方法及び各区分に属する主な国または地域は、次のとおりであります。

① 国または地域の区分の方法……………地理的近接度による。

② 各区分に属する主な国または地域……………中国(香港を含む)

その他アジア:韓国、インド、東南アジア等

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

	中国	その他アジア	その他	合計
I 海外売上高(百万円)	44,136	39,343	8,696	92,177
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	184,905
III 海外売上高の連結売上高に占める割合(%)	23.9	21.3	4.7	49.9

(注) 国または地域の区分の方法及び各区分に属する主な国または地域は、次のとおりであります。

① 国または地域の区分の方法……………地理的近接度による。

② 各区分に属する主な国または地域……………中国(香港を含む)

その他アジア:韓国、インド、東南アジア等